

まちの話題

環境美化活動に大勢の協力

日本列島クリーン大作戦

6月1日(日)、「小さな親切」運動光支部主催による、「2008日本列島クリーン大作戦」が行われました。これは、国道188号沿いの歩道や海岸などの清掃・環境美化活動を行うもので、およそ40団体・1600人の参加がありました。

参加者の熱心な活動のおかげで、早朝からの数時間の間に、見えるように美しくなりました。



祈願酒「ひかり冠梅」

誕生へ

冠梅園で梅もぎ

6月1日(日)に、ひかり冠梅園振興会による恒例の梅もぎが、冠梅園で行われました。

午前中の2時間余りで、会員の皆さんによって収穫された梅は、当初の収穫予定500kgを大きく超える、約880kgにも及びました。

収穫された梅は、冠天満宮の佐伯宮司による祈願・おはらいを受けた後、周南市の酒造メーカーに送られ、梅酒に加工され、祈願酒「ひかり冠梅」として製品化されます。

来年の梅まつりに併せて販売される、祈願酒「ひかり冠梅」、新名物となってほしいものです。

市民特派員の

鑑光千恵さん
(小周防)



まちかど
レポート

稲作づくりで 多くのことを学びたい

岩田小学校児童

稲作づくりに挑戦

岩田小学校(5年生児童32人)では、現在地域の老人クラブと連携し、稲作づくりに取り組んでいます。これは、稲作の大変さや喜びを体験し、地域の人々との触れ合いの中で食べ物の大切さなど、さまざまなことを学んでほしいと企画されたものです。

子どもたちは、5月20日(火)には田んぼを耕運機で慣らしレンゲを



刈りとり、6月4日(水)には田植えを体験しました。

特に田植えは、昔ながらの手植えに挑戦。皆が一行になり苗を均一に植えていく手はずなのですが、初めての作業に大苦戦。水を張った土の感触に歓声を上げつつ、泥だらけになりながら一生懸命苗を植える様子が見受けられました。また、作業終了後は苗植機での実演があり、短時間に均等に植えられる様子に子どもたちは農業技術の進歩を肌で感じたようでした。

苗が順調に成長すると、秋には3俵180kgのもち米が収穫されます。このもち米を使って学校で餅つきをし、わらは、しめ縄作りを利用する予定です。子どもたちは「絶対成功させたい」「早く一杯食べたい」など、実りの季節に向けて夢を馳せました。